

## みずほCustomer Desk Report 2017/08/07号(As of 2017/08/04)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	公示値	110.04
TKY 9:00AM	109.89	1.1883	130.56	0.9680	1.3143	0.7957		
SYD-NY High	111.05	1.1889	131.11	0.9763	1.3164	0.7980		
SYD-NY Low	109.85	1.1728	130.10	0.9671	1.3024	0.7892		
NY 5:00 PM	110.66	1.1774	130.30	0.9730	1.3040	0.7929		
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.11/8.51	△25RR	0.910	Yen Call Over				

NY DOW	22,092.81	66.71	債券市場	日本2年債	-0.1070	0.9bp
NASDAQ	6,351.56	11.22		日本10年債	0.0650	▲0.4bp
S&P	2,476.83	4.67		米国2年債	1.3509	1.2bp
日経平均	19,952.33	▲76.93		米国5年債	1.8157	2.8bp
TOPIX	1,631.45	▲2.37		米国10年債	2.2620	4.1bp
ソカゴ日経先物	20,045.00	75.00		独10年債	0.4680	1.5bp
ロンドンFT	7,511.71	36.94		英10年債	1.1760	2.7bp
DAX	12,297.72	143.00		豪10年債	2.6200	▲4.5bp
ハンセン指数	27,562.68	31.67		為替市況	USD/CNH	0.0056
上海総合	3,262.08	▲10.85		ドルインデックス	93.54	0.70
USDJPY 3M Vol	8.83	▲0.31%	商品市況	CRB指数	180.683	0.04
USDJPY 6M Vol	9.05	▲0.18%		NY金	1,264.60	▲9.80
EURJPY 3M Vol	9.24	▲0.29%		WTI	49.58	0.55
EURJPY 6M Vol	9.50	▲0.19%		Dubai Spot	50.26	▲0.84

東京 前日海外時間の流れを引き継ぎ、東京時間オープン前にドル円は一時この日の安値となる109.85を付けたものの、110円割れの水準では依然としてドル買い意欲が強く、反発する展開となり、東京時間は109.89円レベルでオープン。その後も買い戻しの流れが続く中で110円台を回復すると、一時東京時間高値となる110.18まで上昇。午後にかけては海外時間に米7月雇用統計の発表を控えて動意に乏しい展開となり、110円台前半で揉み合い推移に終始した後、110.11レベルで海外時間に渡った。豪ドルは0.7957レベルで東京時間オープン。その後発表された豪6月小売売上高(前月比)は+0.3%(予想:+0.2%)と市場予想をやや上回ったものの、同時に発表されたRBA四半期報告において「豪ドルの一段の上昇が経済成長とインフレを押し下げる」との懸念が示されると、豪ドルは一時0.7934まで下落。しかし、先日のRBA理事会で足許の豪ドル高を牽制するような文言が見られたこともあり、特段サプライズは無く、すぐに0.7960近辺まで買い戻される展開となり、結局0.7966レベルで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン時間のドル円は110.11レベルでオープン。午後に控える米7月雇用統計の発表待ちで様子見ムードの中、110円台前半の小幅なレンジ内で動意に乏しい値動きとなり、結局110.10レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3140レベルでオープン。英銀決算の上期黒字転換や、英中銀利上げ時期について、NESRが来年1~3月に予想を前倒したことが意識されており、序盤は1.3164まで堅調に推移。しかし、英7月新車登録が前年比9.3%減と4ヶ月連続のマイナスを示したことや、1軒目の住宅購入者に対する支援策の変更や縮小を政府が検討し始めたと報道が重石となり、結局1.3144レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1878レベルでオープン。独6月鉱工業受注指標が前月比+1.0%と予想(0.5%)を上回ったことからこの日の高値となる1.1889まで上昇するも、米7月雇用統計を前に積極的な上値追いは手控えられ、結局オープンとほぼ同水準の1.1877レベルでNYに渡った。(ロンドンフリー 00531 444 179 山本)

ニューヨーク ニューヨーク時間で110.10付近での狭いレンジでの推移が続いたドル円は、110.10レベルでNYオープン。注目の米7月雇用統計は、平均時給が前月比で予想通りとなるも、前年比で予想をやや上回り、非農業部門雇用者数変化も20.9万人増と予想の18万人を上回り、2ヶ月連続で20万人越えとなったことからドルショートボージョンの巻き戻しが強まり、110.77まで上昇。その後は円安の下落にやや小緩む場面があったものの、ドル買い地合いが続く中、一時この日の高値となる111.05まで上伸。引けにかけては、週末を控えて閑散な取引となる中でじりじりと値を下げる展開となり、110.66レベルでクローズした。海外時間のユーロドルと同様に米7月雇用統計を控えた様子見ムードの中、1.1880付近での狭いレンジ内での推移が続き、1.1877レベルでNYオープン。朝方は良好な米7月雇用統計を受け、大きく傾いていたユーロドルのボジションの解消が強まり、ユーロドルはこの日の安値となる1.1728まで急落。その後は、押し目買いの動きも見られる中、1.1750付近での方向感に乏しい推移が続き、結局1.1774レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:鶴田・鶴田

## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月4日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	6月 0.3%	0.2%
	10:30	豪 RBA 議事要旨	-	-
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化/失業率	7月 209K/4.3%	180K/4.3%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.3%/2.5%	0.3%/2.4%
	21:30	米 貿易収支	6月 -\$43.6B	-\$44.5B

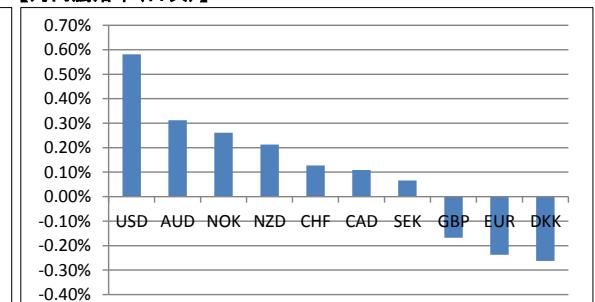
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月7日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	6月 0.2%/3.7%	1.2%/5.0%
8月8日	0:45	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-
	2:25	米 カシュカリ・ミネアボリス連銀総裁 講演	-	-

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【マーケット・インプレッション】

## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20-111.20	1.1720-1.1870	129.80-131.30

## 【マーケット・インプレッション】

先週末海外時間のドル円は上昇する展開。注目された米7月雇用統計は非農業部門雇用者数が前月に続き20万人超えとなる20.9万にと市場予想の18万人を上回る結果となり、平均時給についても概ね市場予想通りとなり、総じて堅調な内容となつた。同指標を好感する格好にドル円は110円台前半から一時111.05まで上昇。その後は週末を控えた調整の中でドル円はやや値を下げるも堅調推移が続き110円台半ばで越過した。本日のドル円は特段材料に乏しい中でレンジ推移を予想する。米7月雇用統計が堅調な内容となつたことでドル円が大きく値を下げるイメージはないが、本日は主だった経済指標などの発表も予定しておらず、ドル買い材料を探すのは難しいだろう。かかる状況下、本日のドル円はレンジ内での動意に乏しい展開を基本線としたい。